

平成9年度「宇宙の日」記念行事について

平成9年9月10日

調 査 国 際 室

国際宇宙年（1992年）に設定された「宇宙の日」（9月12日）に関する記念行事は以下のとおり。

1. 「宇宙ふれあい塾 '97」

主 催：科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所、
（財）日本宇宙フォーラム、（財）日本宇宙少年団

日 時：平成9年9月7日（日）10：30～13：00

場 所：目黒区公会堂（目黒区中町2-45-11）

対 象：小学生（3年生以上）～中学生

内 容：

第1部 コンテスト表彰式

（1）主催者挨拶（科学技術庁長官）

（2）科学技術庁長官賞等授与

- ・ 作文コンテスト（テーマ：宇宙人に送る自己紹介）
- ・ 絵画コンテスト（テーマ：宇宙の夏休み）

第2部 子ども宇宙サミット

東京会場とサブ会場（山形、茨城、愛知）をテレビ会議システムで結び、若田光一宇宙飛行士が、コズミックリーダー（NASDAコズミックカレッジ修了者）を交えて、宇宙での体験談、宇宙飛行士の訓練、来年から建設が始まる宇宙ステーションについて楽しく解説を行う。

第3部 ふれあいスペースクイズ

若田光一宇宙飛行士、中村浩美科学ジャーナリストと、クイズ形式の質問と実験をしながら宇宙を楽しく学ぶ。

*目黒区公会堂、サブ会場（山形、茨城、愛知）合わせて1,000人程度の参加者がありサブ会場との中継も予定通り進めることができた。

2. コンテスト

(1) 「宇宙人に送る自己紹介」作文コンテスト

主 催：科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所、
(財) 日本宇宙フォーラム、(財) 日本宇宙少年団

概 要：小・中学生を対象とし、新聞紙上及び全国の科学館等において募集（7月15日締切）を行い応募総数5、305点（小学生3、497点、中学生1、808点）の中から科学技術庁長官賞等を選定した。

(2) 「宇宙の夏休み」絵画コンテスト

主 催：科学技術庁、宇宙開発事業団、文部省宇宙科学研究所、
(財) 日本宇宙フォーラム、(財) 日本宇宙少年団

概 要：小・中学生を対象とし、新聞紙上等において募集（7月15日締切）を行い応募総数3、331点（小学生3、168点、中学生163点）の中から科学技術庁長官賞等を選定した。

3. 地球観測フェア'97

主 催：宇宙開発事業団、(社) 経済団体連合会・宇宙開発利用推進会議、
(財) リモートセンシング技術センター

日 時：平成9年9月19日（金）、20日（土）10：00～16：30

場 所：東京ビックサイド／レセプションホールB（東京・有明）

概 要：地球観測衛星「みどり」のこれまでの成果報告、リモートセンシングデータの実利用動向等の講演を行うとともに、地球観測に関する民間企業等による展示等を実施する。

4. 宇宙教室への講師派遣

主 催：宇宙開発事業団

日 程：平成9年9月 1ヶ月間

場 所：中学校、科学館等（31ヶ所）

概 要：NASDAの若手（30代）職員を職員の出身地（中学校等）に講師として派遣しその地域で講演会等を開催する。

5. 体験イベント

(1) 「バブロケットを飛ばそう」

主 催：航空宇宙技術研究所

日 時：平成9年9月13日（土）10：00～12：00

場 所：航空宇宙技術研究所

対 象：航空宇宙技術研究所近隣（調布市、三鷹市、武蔵野市、府中市等）
小学4～6年生50名募集

概 要：ロケットの飛ぶ原理の話、世界のロケットの紹介、バブロケットの作り方
飛ばし方の説明を行い、バブロケットを作り、屋外で実際に飛ばしてもらう。

（2）「紙飛行機教室等」

主 催：航空宇宙技術研究所

日 時：平成9年9月7日（日）10：00～15：30

場 所：航空宇宙技術研究所 角田宇宙推進技術研究センター

概 要：「紙飛行機教室」において少・中学生を対象に紙飛行機の作り方、飛ばし
方の説明を行い、講堂で飛ばしてもらう。

「絵かきコーナー」では少・中学生を対象に未来の乗り物をテーマに絵を
書いてもらう。書いた絵は、平成10年度科学技術週間の一般公開時に展
示する。また施設の公開を行う。

6. 施設等の一般公開

宇宙開発事業団	9／7	地球観測センター、 角田ロケット開発センタ ー、勝浦宇宙通信所
	9／13	筑波宇宙センター、沖縄宇宙通信所
	9／14	種子島宇宙センター、 増田宇宙通信所

7. 政府広報

（1）テレビ放送

- ・「さわやかニッポン」 日本テレビ

放送日：9月7日（日）6：30～6：45

（2）ラジオ放送

- ・「クローズアップにっぽん」

放送日：9月7日（日）7：15～7：45